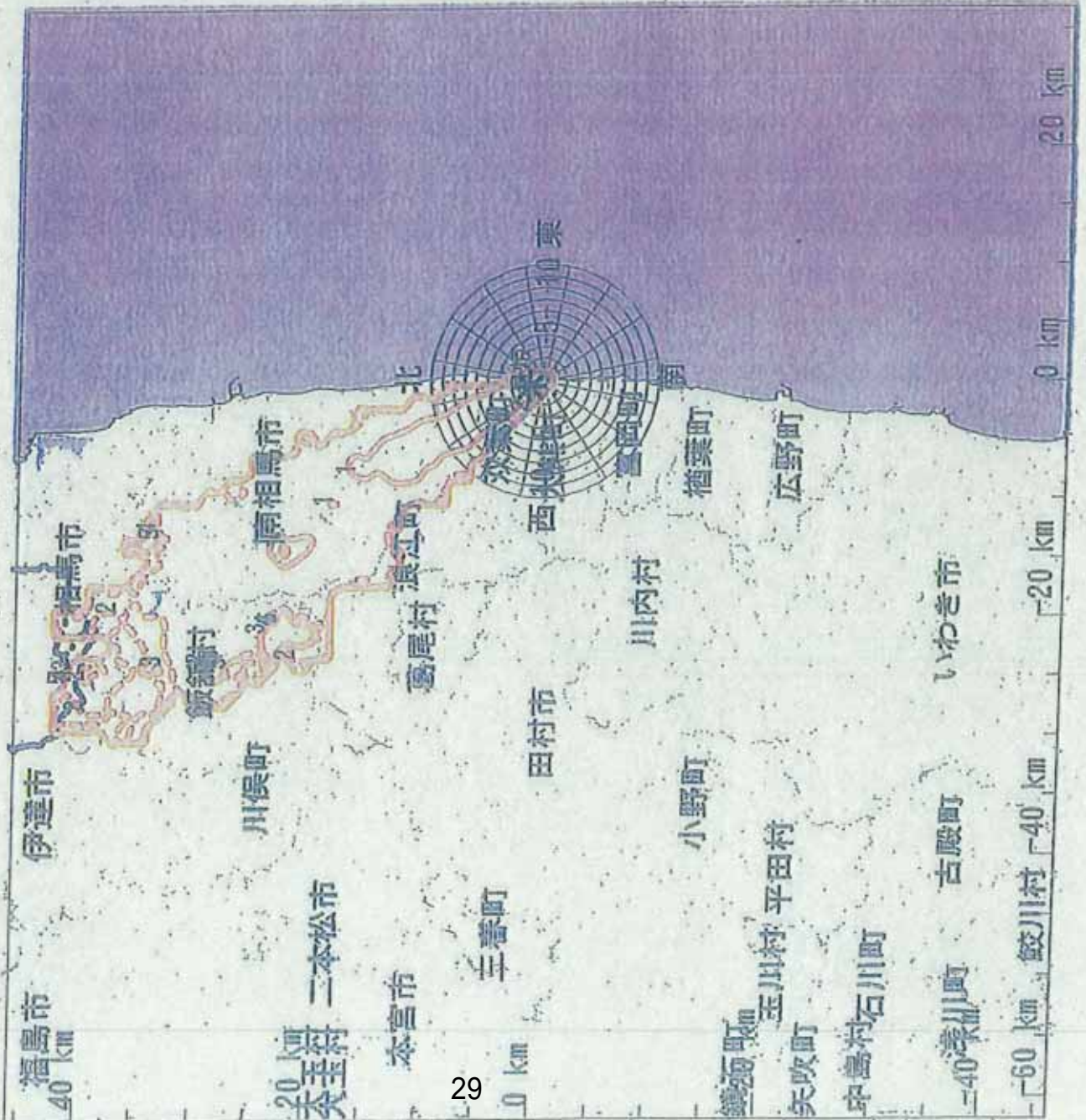


・気中濃度 (ヨウ素) (地上高)  
 時 = 2011/03/15 20:00 - 2011/03/15 21:00  
 象データ = G.P.Vのみ

福島第1 2号炉 広域図



放出地点 : 141°02'08" - 37°25'18"  
 領域 : 92km × 92km  
 表示高度 = 1.00 m

【凡例】

大気中濃度等値線 (Bq/m<sup>3</sup>) 濃度差

1 = 1.0 × 10 <sup>-11</sup>	10 <sup>0</sup>	10 <sup>10</sup>
2 = 1.0 × 10 <sup>-13</sup>	10 <sup>8</sup>	10 <sup>8</sup>
3 = 1.0 × 10 <sup>-15</sup>	10 <sup>6</sup>	10 <sup>6</sup>
4 = 1.0 × 10 <sup>-17</sup>	10 <sup>4</sup>	10 <sup>4</sup>
5 = 1.0 × 10 <sup>-19</sup>	10 <sup>2</sup>	10 <sup>2</sup>

最大濃度 = 1.4 × 10<sup>-10</sup> Bq/m<sup>3</sup>  
 放出地点の北北西 1.4 km地点 (\*印)

計算モデル名 = PRWDA21  
 使用モデル名 = 通常モデル  
 【計算条件】

計算メッシュ幅 水平方向 = 1.00 km  
 放出高 = 120.0m  
 燃焼度 = 20000 MWd/MTU  
 原子炉停止時刻 = 2011/03/11 14:47  
 放出開始時刻 = 2011/03/15 18:00  
 放出モード = 単位量放出  
 放出核種・放出率 (積算) : Bq/h (Bq)  
 ヨウ素 : 1.0 × 10<sup>-6</sup> (1.0 × 10<sup>-6</sup>)

3役 軽明海  
 保存



気吸収線量率

時 = 2011/03/15 19:00 - 2011/03/15 20:00  
 象子一夕 = GPV + 観測値 (2011/03/15 17:00) まで

福島第1 2号炉 広域図  
 核種名 = 希ガス

放出地点 : 141° 02' 08" - 37° 25' 18"  
 領域 : 92km × 92km  
 【凡例】

空気吸収線量率等値線 ( $\mu\text{Gy/h}$ ) 全量 連続  
 1 =  $1.0 \times 10^{-15}$  1016  
 2 =  $5.0 \times 10^{-16}$  1000  
 3 =  $1.0 \times 10^{-16}$  1000  
 4 =  $5.0 \times 10^{-17}$  500  
 5 =  $1.0 \times 10^{-17}$  100

最大線量率 =  $2.2 \times 10^{-15} \mu\text{Gy/h}$   
 放出地点の西北西 0.6 km地点 (\*印)

計算モデル名 = PRWDA21  
 使用モデル名 = 通常モデル  
 【計算条件】

計算メッシュ幅 水平方向 = 1.00 km  
 放出高 = 120.0m  
 燃焼度 = 20000 MWD/MTU  
 原子炉停止時刻 = 2011/03/11 16:00  
 放出開始時刻 = 2011/03/15 18:00  
 放出モード = 単量放出  
 放出核種・放出率 (積算) : Ba/h (Ba)  
 希ガス :  $1.0 \times 10^0$  ( $1.0 \times 10^0$ )





東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う  
WSPEEDI-IIによる放射能拡散予測結果について

平成28年3月15日

(独) 日本原子力研究開発機構

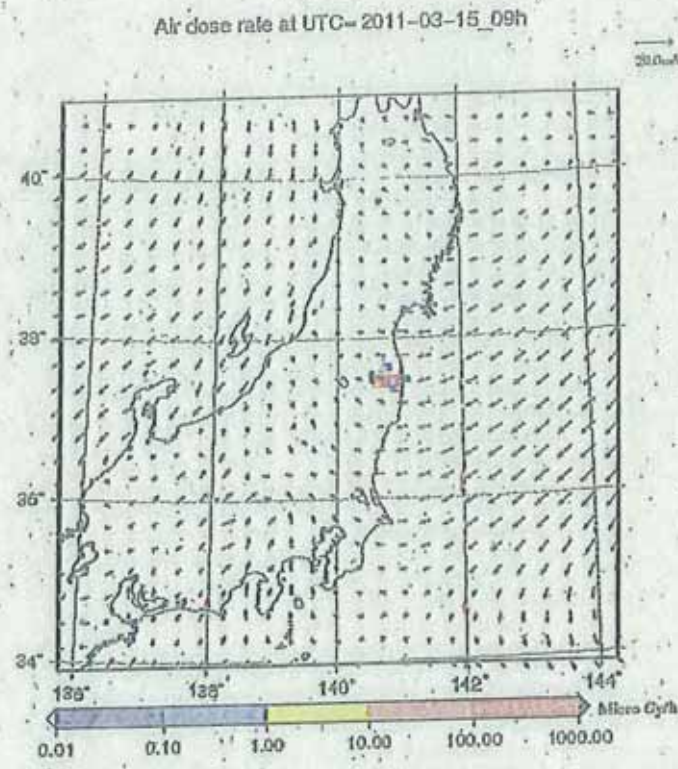
標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下の通りです。

1. 仮定計算条件

放射性物質の量	希ガス $10^{10}$ Bq/h (総量: $10^{10}$ Bq) ヨウ素 $10^{10}$ Bq/h (総量: $10^{10}$ Bq) それぞれ1時間放出が継続するものとする。
放出場所	: 福島第一原子力発電所 東経 141.0356 度 北緯 37.4217 度
放出高さ	: スタック高 (120m)
燃焼度	: 20,000 MWD/MTU
原子炉停止時刻	: 3月11日15時
放出開始時刻	: 3月15日16時

2. 結果出力

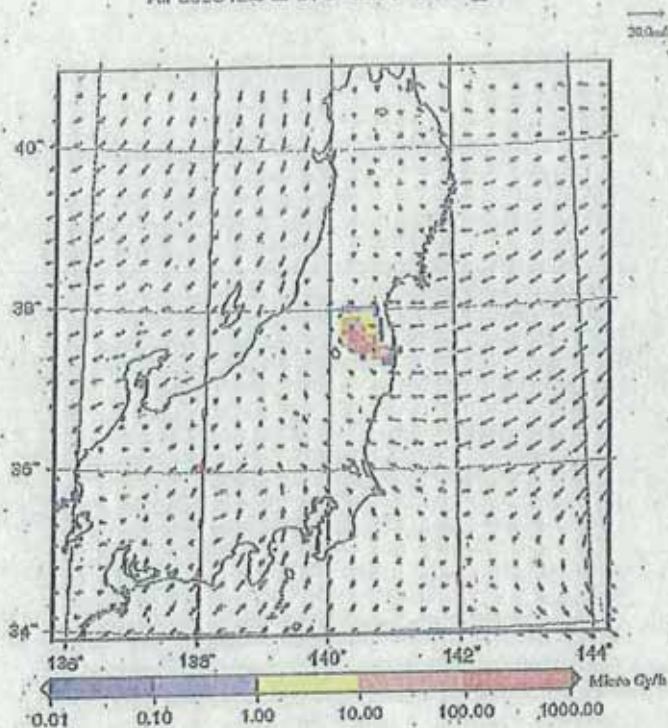
【空間線量率分布 3月15日18時】



【空間線量率分布 3月15日20時】

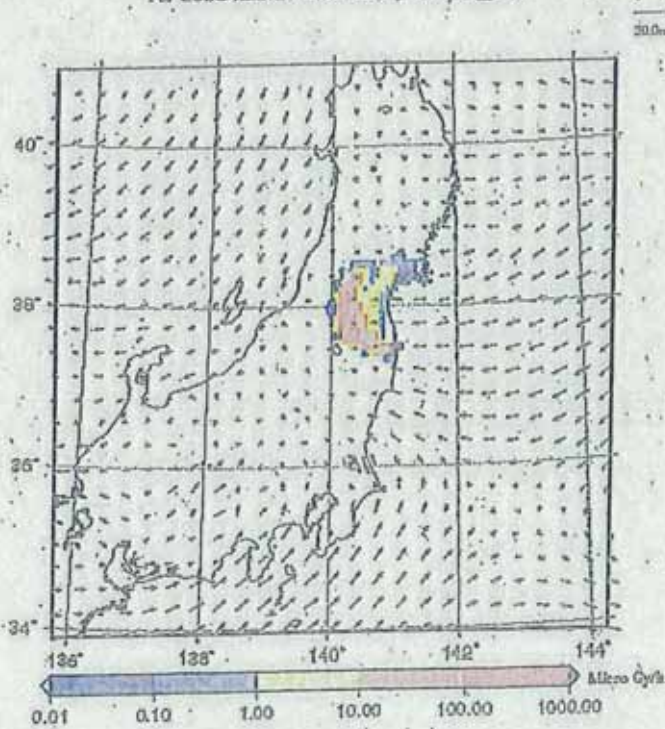


Air dose rate at UTC= 2011-03-15\_11h



【空間線量率分布 3月15日22時】

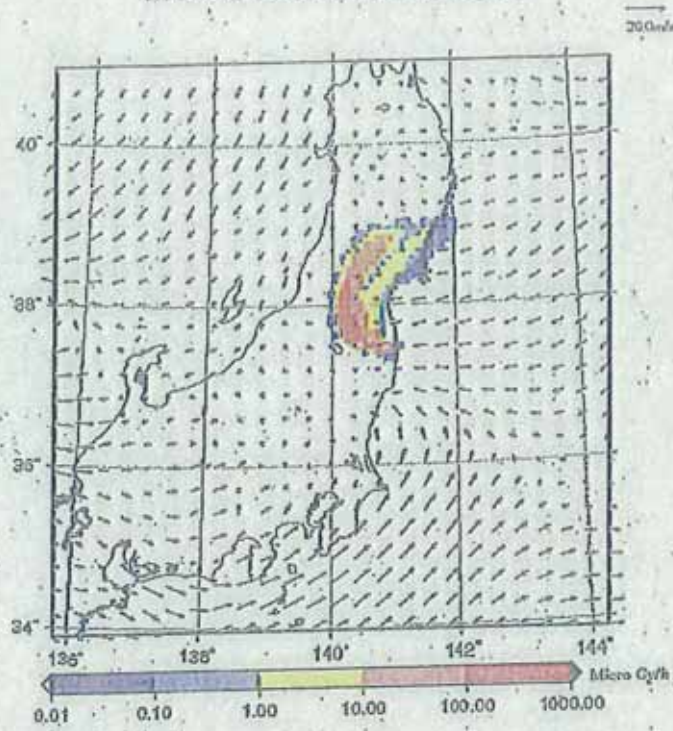
Air dose rate at UTC= 2011-03-15\_13h



【空間線量率分布 3月16日0時】

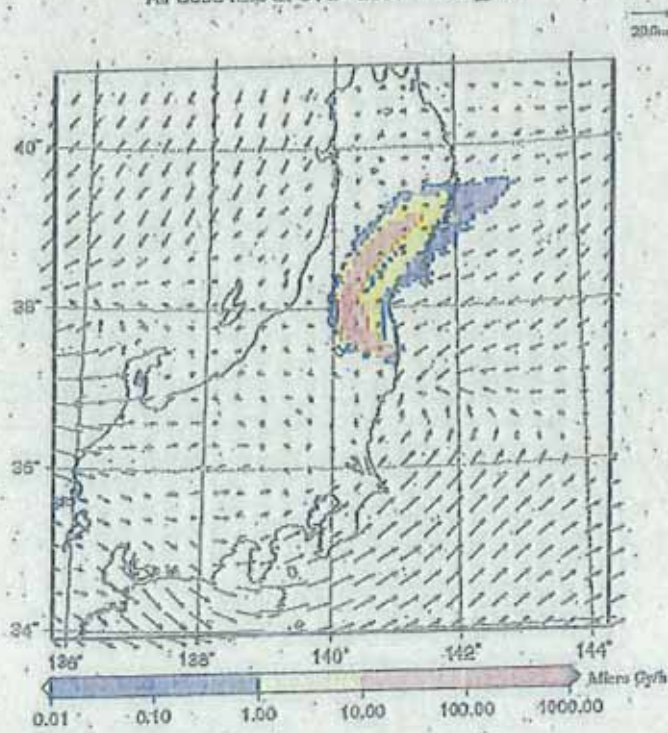


Air dose rate at UTC=2011-03-15\_15h



【空間線量率分布 3月16日 2時】

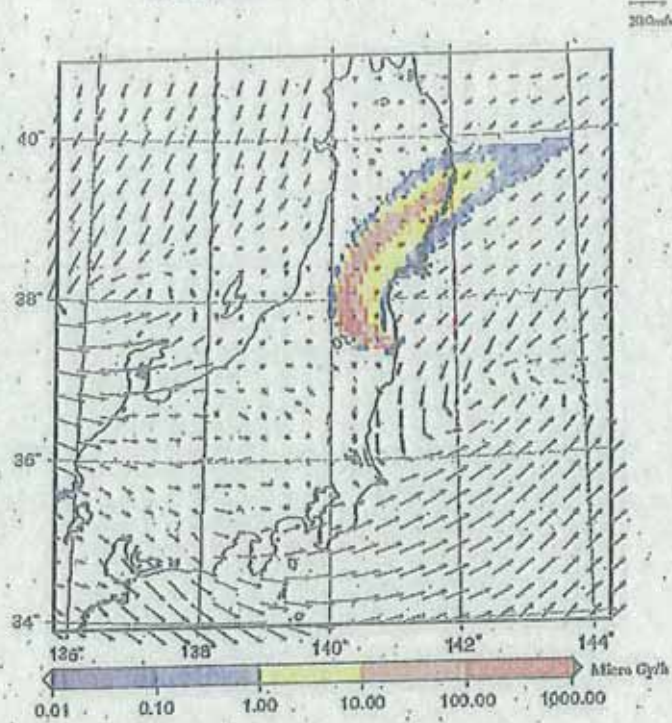
Air dose rate at UTC=2011-03-15\_17h



【空間線量率分布 3月16日 4時】

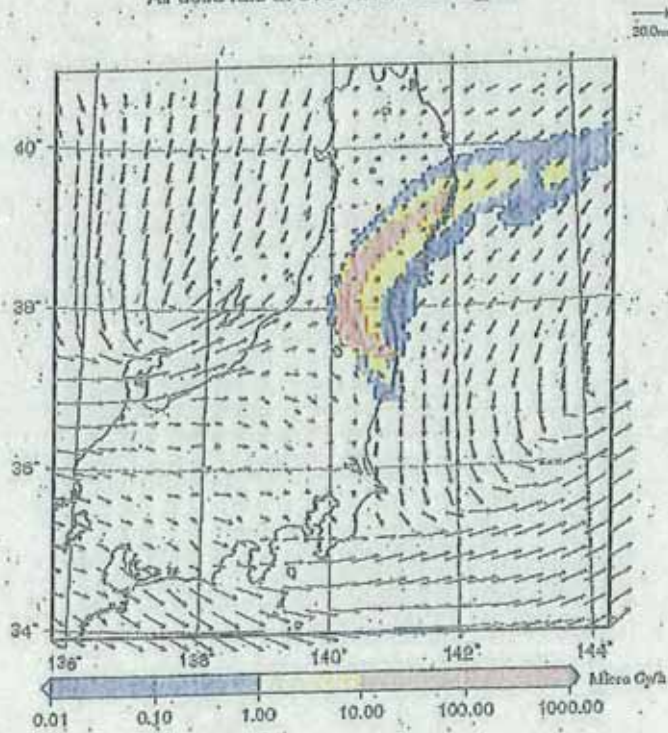


Air dose rate at UTC= 2011-03-15\_19h



【空間線量率分布 3月16日7時】

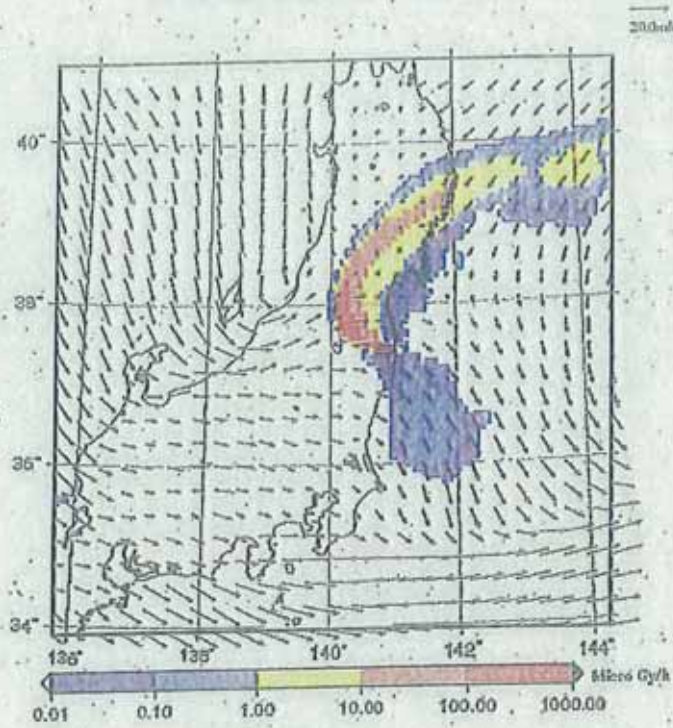
Air dose rate at UTC= 2011-03-15\_22h



【空間線量率分布 3月16日10時】

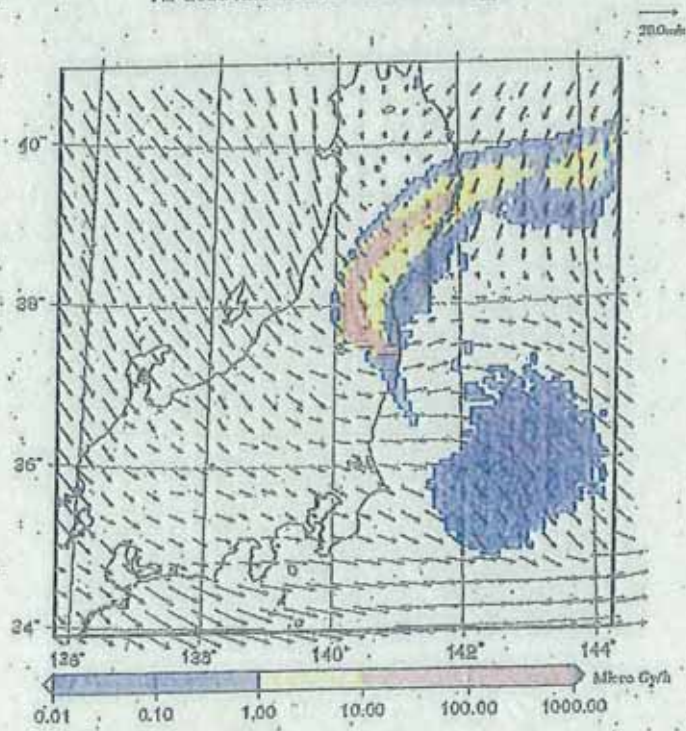


Air dose rate at UTC=2011-03-16\_01h



【空間線量率分布 3月16日13時】

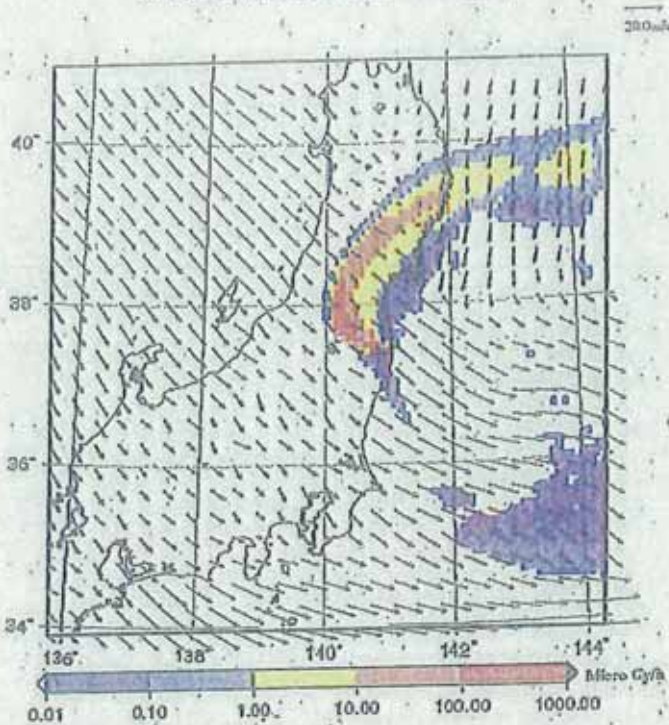
Air dose rate at UTC=2011-03-16\_04h



【空間線量率分布 3月16日16時】

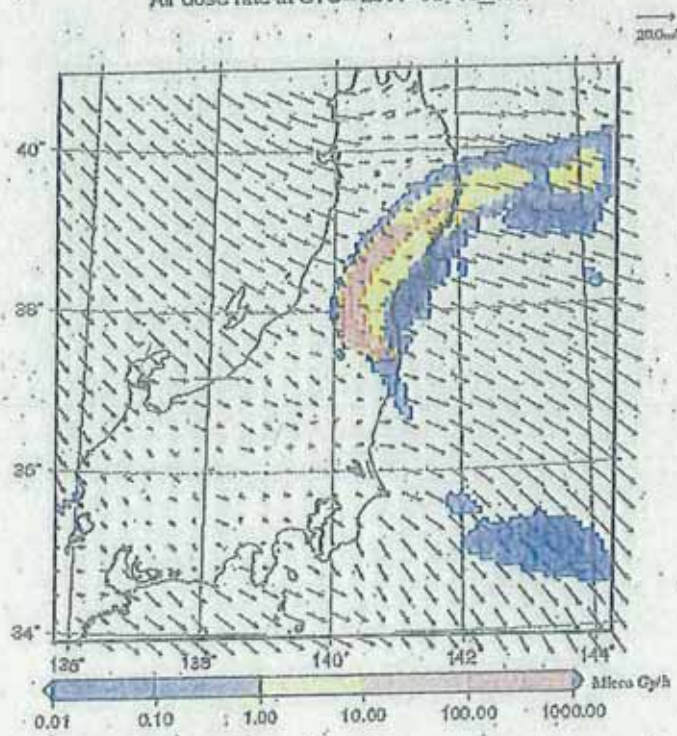


Air dose rate at UTC- 2011-03-16\_07h



【空間線量率分布 3月17日4時】

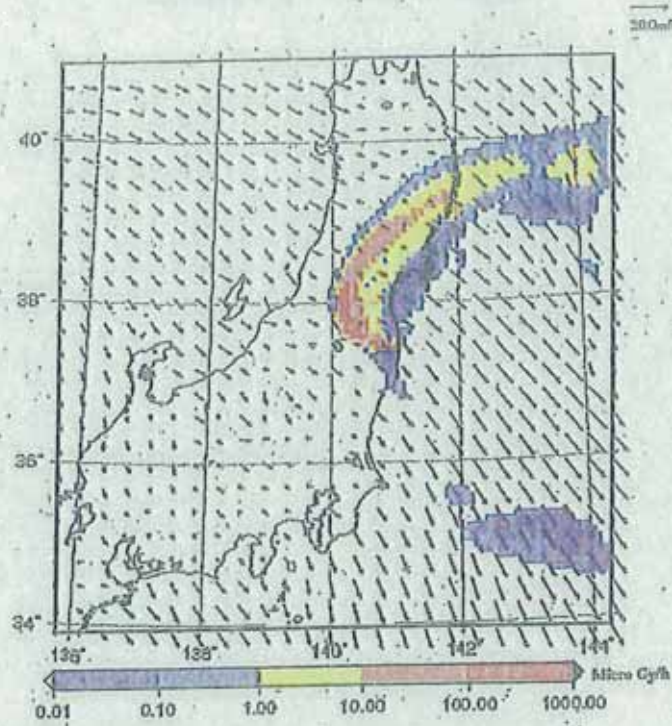
Air dose rate at UTC- 2011-03-16\_19h



【空間線量率分布 3月18日9時】

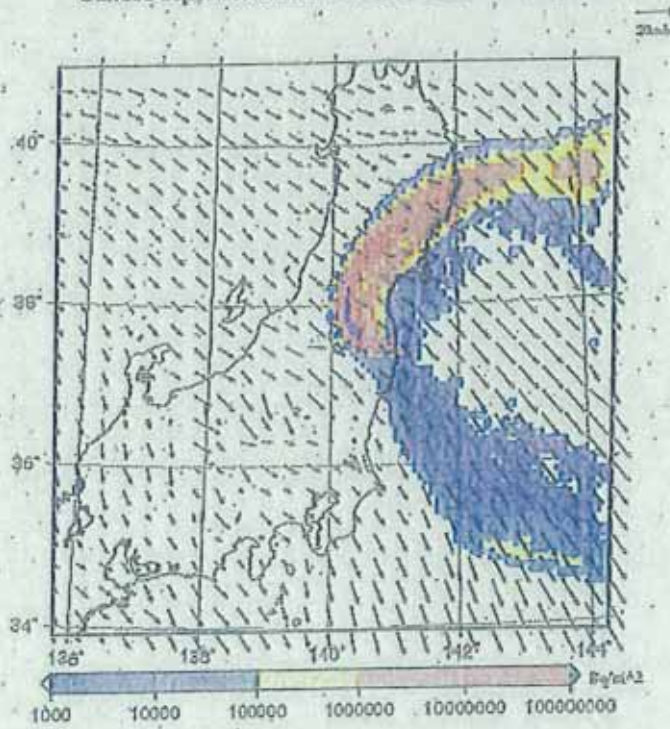


Air dose rate at UTC=2011-03-18\_00h



【ヨウ素沈着量分布 3月18日9時】

Surface deposition of iodine at UTC=2011-03-18\_00h





3月16日16時以降はブルームが計算領域外に流出しているが地表に沈着したヨウ素による線量率が計算されている。なお、宮城県から岩手県方向に向かう線量率分布は降水により上空から地表に沈着したヨウ素による。



3/16 11時頃  
三役会議

福島第1 2号炉 広域図  
核種名 = 希ガス  
対象年齢 = 成人

ト部被ばくによる実効線量  
時 = 2011/03/15 01:00 - 2011/03/15 13:00 の積算値  
条件 = G.P.Vのみ

放出地点 : 141°02'08" - 37°25'18"  
領域 : 92km X 92km

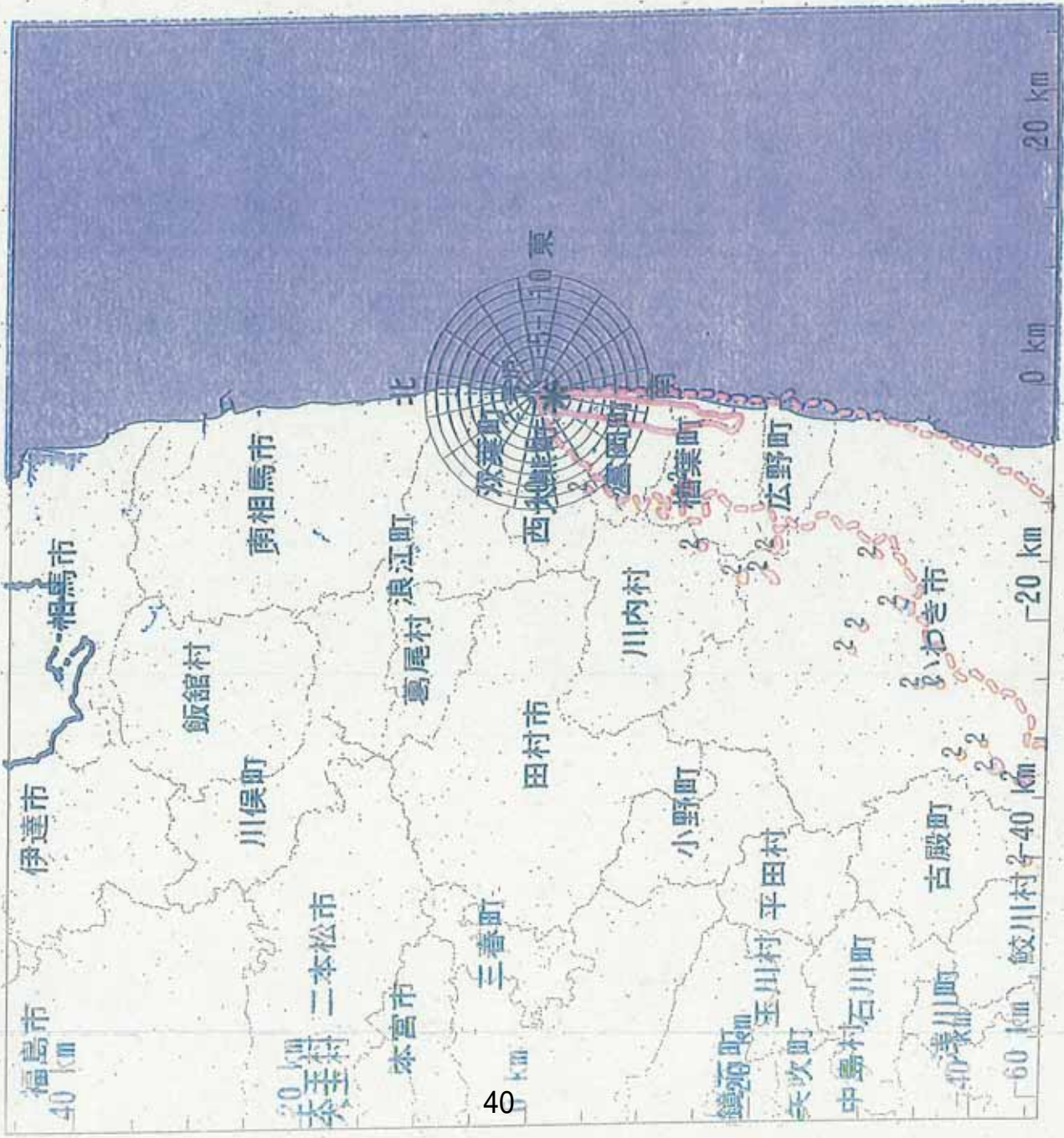
全量 (10<sup>19</sup>Bq)  
10,000  
1,000

【凡例】  
実効線量等値線 (mSv)  
1 = 1.0 × 10<sup>-18</sup> ————  
2 = 1.0 × 10<sup>-19</sup> - - - - -  
3 = 1.0 × 10<sup>-20</sup>  
4 = 1.0 × 10<sup>-21</sup>  
5 = 1.0 × 10<sup>-22</sup>

最大線量 = 9.4 × 10<sup>-18</sup> mSv  
放出地点の南南西 1.8 km 地点 (\*印)

計算モデル名 = PRWDA21  
使用モデル名 = 通常モデル  
【計算条件】

計算メッシュ幅 水平方向 = 1.00 km  
放出高 = 120.0m  
燃焼度 = 20000 MWD/MTU  
原子炉停止時刻 = 2011/03/11 14:47  
放出開始時刻 = 2011/03/15 01:00  
放出モード = 単位置放出  
放出核種・放出率(積算) : Bq/h (Bq)  
希ガス : 1.0 × 10<sup>-0</sup> (1.2 × 10<sup>-1</sup>)



仮定計算条件WS



3/16 11時頃  
三役会議

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う  
WSPEEDI-IIによる放射能拡散予測結果について

平成23年3月15日

(独)日本原子力研究開発機構

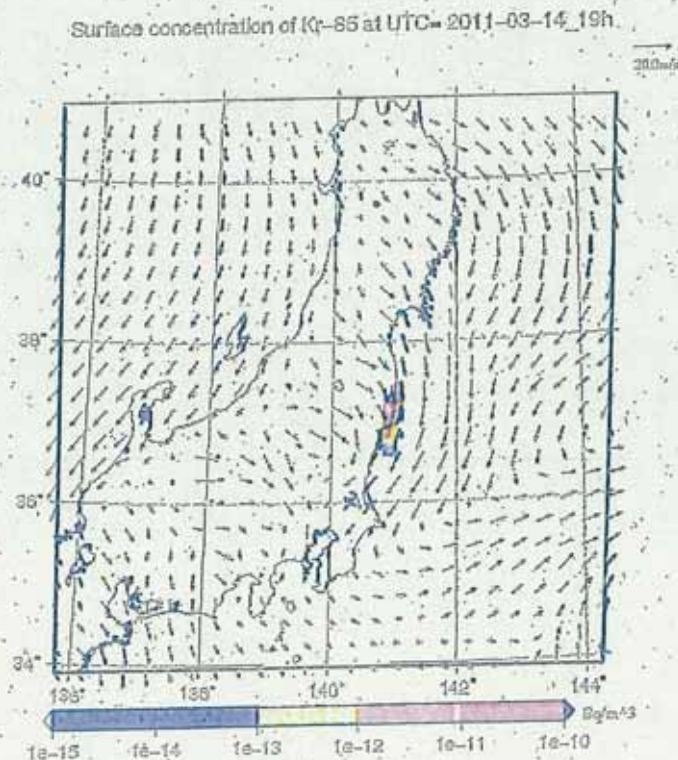
標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下の通りです。

1. 仮定計算条件

放射性物質の種類 : 希ガス (Kr-85)、ヨウ素 (I-129)、セシウム (Cs-137)  
放射性物質の量 : 単位放出 (1Bq/h)  
放出場所 : 福島第一原子力発電所  
東経 141.0356度 北緯 37.4217度  
放出高さ : スタック高 (120m)  
放出継続時間 : 3月15日 1時から連続放出

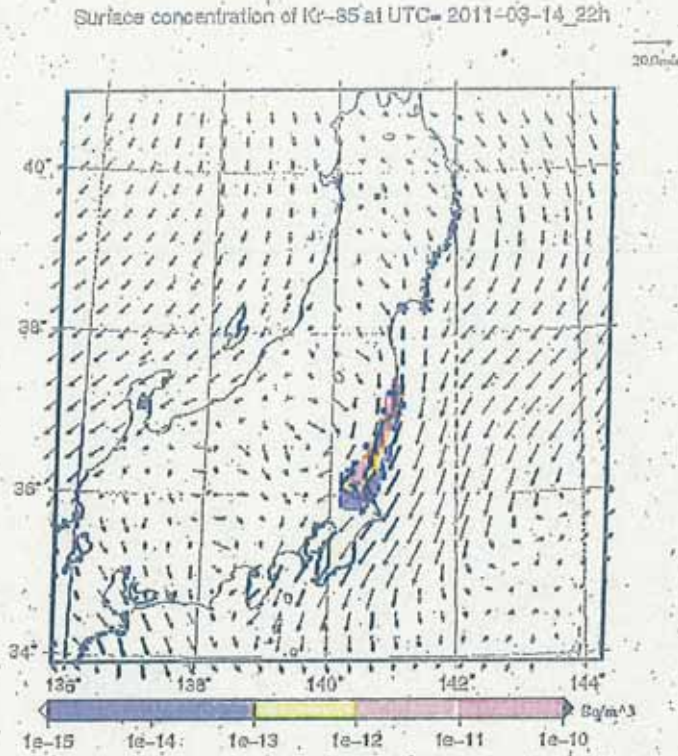
2. 結果出力

【Kr-85の地上濃度分布 3月15日4時】

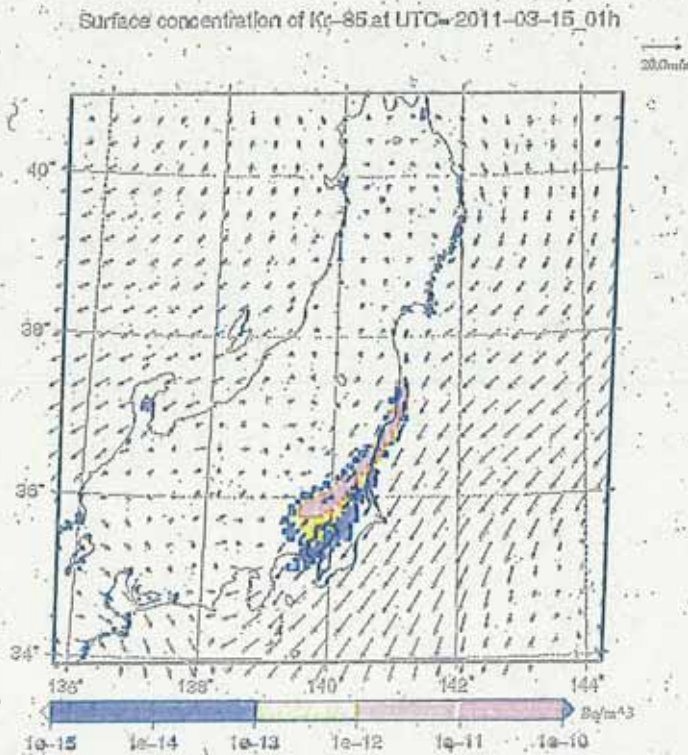




【Kr-85 の地上濃度分布 3月15日7時】

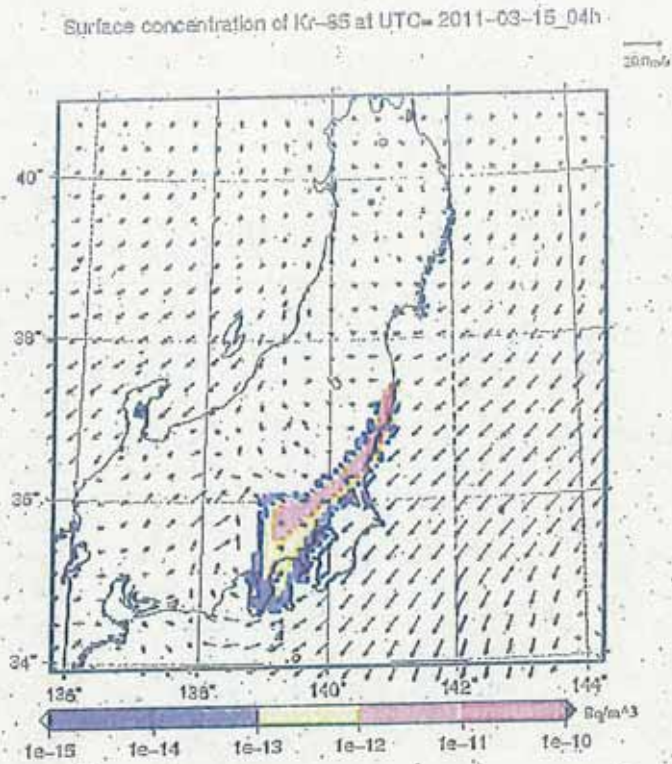


【Kr-85 の地上濃度分布 3月15日10時】

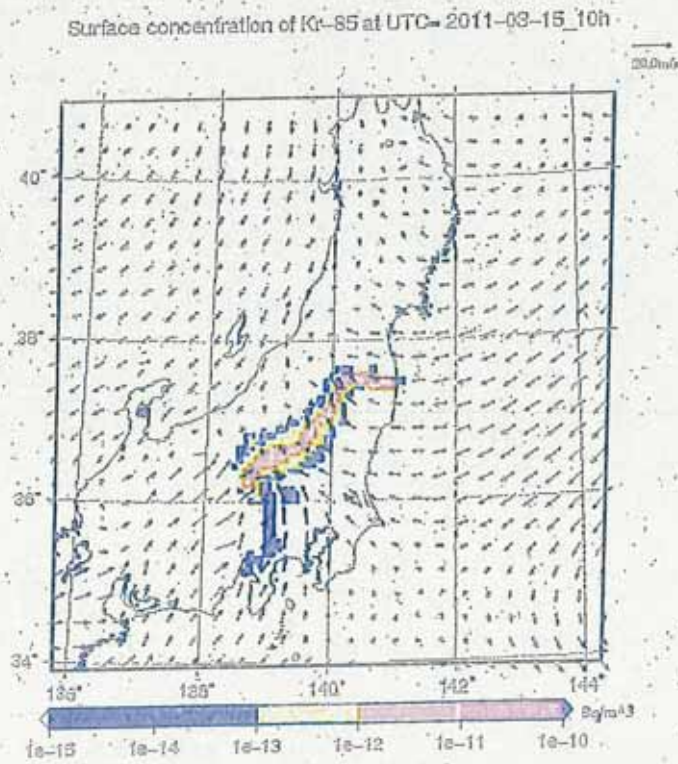




【Kr-85の地上濃度分布 3月15日13時】

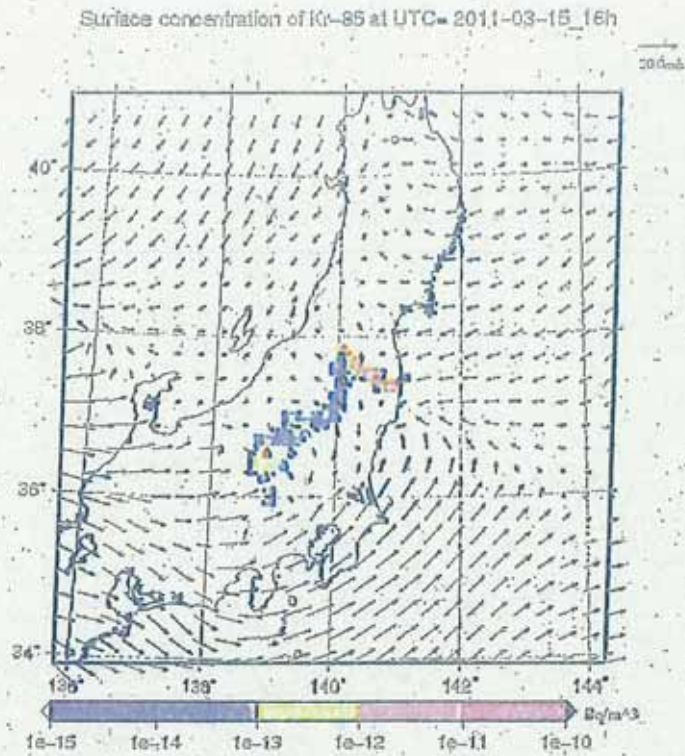


【Kr-85の地上濃度分布 3月15日19時】

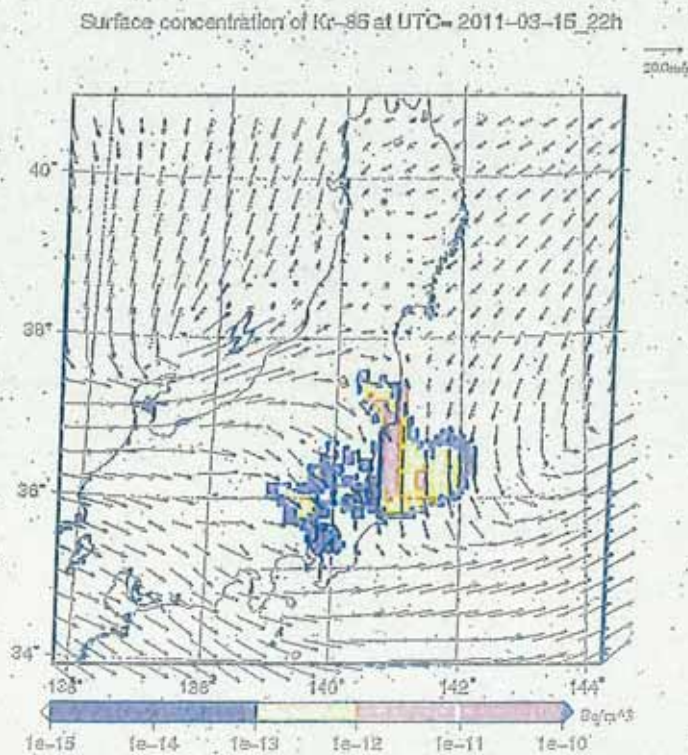




【Kr-85 の地上濃度分布 3月16日1時】

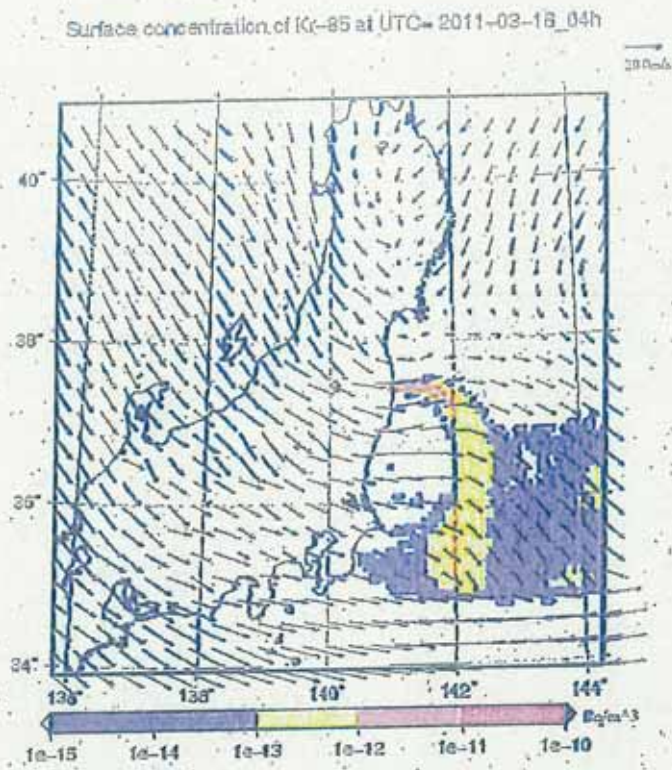


【Kr-85 の地上濃度分布 3月16日7時】

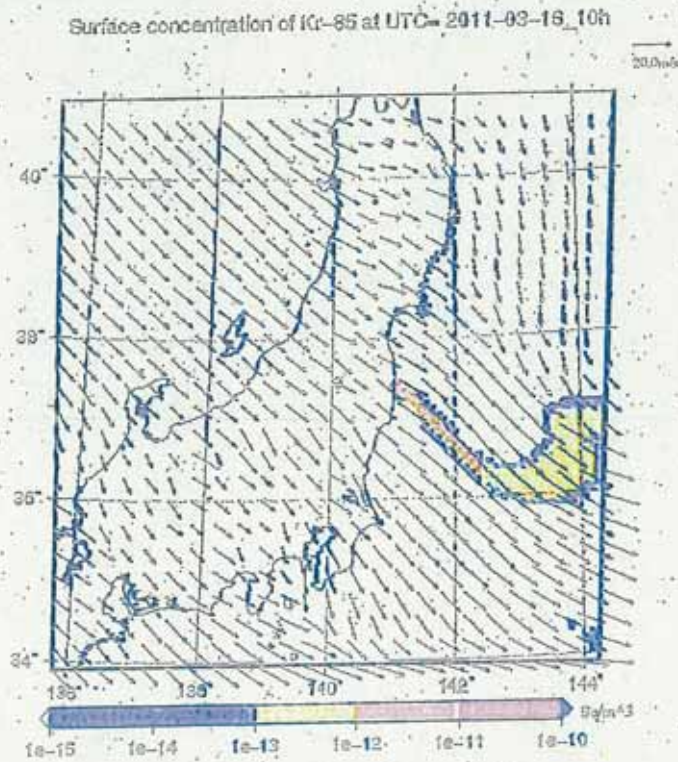




【Kr-85の地上濃度分布 3月16日13時】

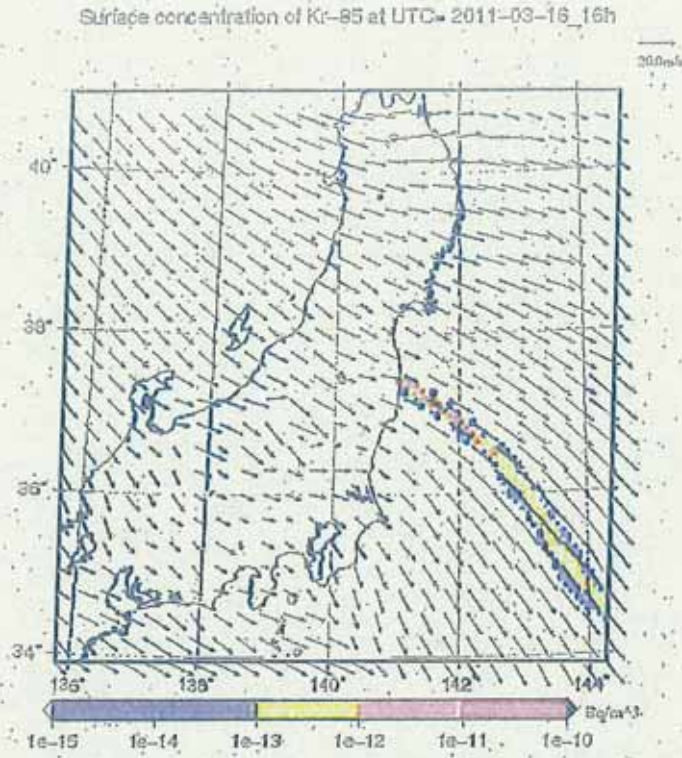


【Kr-85の地上濃度分布 3月16日19時】





【Kr-85の地上濃度分布 3月17日1時】



【Kr-85の地上濃度分布 3月18日9時】

